

J - クレジット制度管理者 御中

実績確認概要書

平成30年2月1日

審査機関名 ロイドレジスター クオリティ アシュアランス リミテッド

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	複数手法活用による病院省エネ事業□
承認番号	KC0004
排出削減事業者名	公益社団法人益田市医師会立益田地域医療センター医師会病院□
排出削減共同実施事業者名	マイクライメイトジャパン株式会社 (その他関連事業者名：なし)
事業実施場所	公益社団法人益田市医師会立益田地域医療センター医師会病院 (住所：島根県益田市遠田町 1917 番地 2)
事業の概要	病院における電力式高効率ヒートポンプの追加、空調用熱源の空冷高効率チラーへの更新、及び照明器具の高効率照明器具への更新という複数の手法によって病院全体の省エネルギー化を図る。 ①重油焚ボイラの蒸気による給湯に電気式高効率ヒートポンプを追加することで、エネルギー効率を改善しエネルギー消費量を削減する。 ②空調用熱源を空冷高効率チラー更新しエネルギー効率を改善することでエネルギー消費量を削減する。 ③照明器具を高効率照明器具へ更新しエネルギー効率を改善することでエネルギー消費量を削減する。□
排出削減量の計画	2009年度： 319 tCO ₂ 2010年度： 319 tCO ₂ 2011年度： 319 tCO ₂ 2012年度： 319 tCO ₂ 2013年度： 256 tCO ₂ 2014年度： 259 tCO ₂ 2015年度： 262 tCO ₂ 2016年度： 262 tCO ₂ (事業実施期間合計 2,315 tCO ₂)
クレジット認証期間	開始日 2009年4月1日

	終了日 2017年3月31日
排出削減方法論	方法論番号 002 「ヒートポンプの導入による熱源設備の更新」 方法論番号 004 「空調設備の更新」 方法論番号 006 「照明設備の更新」 □

2. 本実績確認の対象期間

2013年4月1日 ～ 2017年3月31日（第5回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	950tCO ₂ (2013年4月1日 ～ 2017年3月31日)
-------	-------------------------------------------------

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って実施した結果生じていること	排出削減量が、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じている事を、以下の通り確認した。 1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 初回実績確認ではないので該当しない。 2) 対象期間中の設備稼働の確認 本実績報告期間における遠隔データ収集値による対象設備の電力使用量の把握および現地確認により継続的に稼働していたことを確認している。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って実施され、算定されていることを確認した。 1) モニタリング方法の確認 承認排出削減事業計画に従って、遠隔データ収集値による電力使用量の把握がなされていることを確認した。

	<p>2) 活動量の正確性 電力使用量については、報告期間中に亘り、記録責任者の管理の下、遠隔データ収集値が保存されており、活動量が正確に集計・算定されていることを、事業者へのインタビューおよび管理記録資料により確認した。</p> <p>3) 単位発熱量、排出係数等の確認 排出削減量の算定式及び使用されている排出係数等が方法論及び承認排出削減事業計画並びに J-クレジット制度のモニタリング・算定規程（排出削減プロジェクト用）Ver.2.9に従っており、算定結果が正確であることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果をモニタリング結果と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であったことを確認している。□</p>
算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないこと	今回の実績確認対象期間は 2013 年 4 月 1 日から 2017 年 3 月 31 日までとなっているが、J-クレジット制度への移行手続きにより、終了日は 2017 年 3 月 31 日となっているため、当該算定結果は適切であることを確認した。□

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

今回の検証において、一部証明については故障によるLEDへの取替え、また照明点灯本数の減少が確認された。そのため、現地確認および事業関係者へのヒアリングにより、一部照明のプロジェクト対象設備からの除外、及び点灯時間の再設定を行った上で、ベースライン排出量、排出削減量を算定している。

6. 特記事項

本実績確認期間における省エネルギー量として、以下の通りであることを確認した。

（方法論002）原油換算 395kL、熱量換算 15,309.9GJ

（方法論004）原油換算 5.5kL、熱量換算 215.3GJ

（方法論006）原油換算 65.2kL、熱量換算 2530.6GJ

以上